

Governor's Monthly Letter

11

2015 NOVEMBER Vol.5



PHOTO: 鈴鹿市観光協会提供



四季風景
in SUZUKA

○伊勢型紙紋様

「伊勢型紙」とは、着物の生地として柄や紋様を染めるために使う独特の型紙です。美濃和紙も柿渋で貼り合わせた「型地紙」に彫刻刀で図柄を彫り抜いて仕上げます。始まりは千有余年前といわれています。精巧で華麗な文様からは、「和」の自然で柔らかな美しさがにじみ出ております。伊勢型紙のデザインと伝統技術を生かし、最近では美術型紙で建具、インテリアなど、消費者のニーズを取り入れて魅力あふれる商品作りが進められています。

ガバナー月信

国際ロータリー第2630地区
2015-2016年度 ガバナー岡田信春

ガバナー事務所
〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20
ギャラリー オカトモ102
Tel: 059-381-2630 Fax: 059-381-2631
E-mail: 1516@rid2630.org

Rotary
CONTENTS

過去、現在・今、行動するロータリアン～会長賞に挑戦しよう～

- 2015-16年度 第2630地区ガバナーメッセージ
- R財団部門委員長メッセージ：R財団月間によせて
- 活動報告
- 国際ロータリー第2630地区 出席報告
- 会員動静報告
- 地区大会のお知らせ

第2630地区のページは
スマートフォンでも
ご覧いただけます。



「ロータリー財団月間」によせて



2015-16年度
RI第2630地区ガバナー

岡田 信春

鈴鹿が世界のSUZUKAになる、F1日本グランプリも閉幕し、秋の気配がますます深くなっております。おかげさまで、コースアウトすることなく、すべての公式訪問を先日終えることができました。各クラブの会長・幹事はじめ、多くの会員と率直に語り合う機会をもてましたことは、私にとってかけがえのない収穫であります。

さて、今月は「ロータリー財団月間」です。財団につきましては、公式訪問の際にも、さまざまなご意見・ご質問を頂戴しております。

ご案内のとおり、財団では、2013-14年度から「未来の夢プロジェクト」をスタートさせ、新たな補助金システム（「地区補助金」「グローバル補助金」）を導入しました。その中でも、地区補助金は、各地区・クラブにおいて、地元や海外の地域社会のニーズに取り組むための、比較的規模の小さい、短期的な奉仕活動（人道的プロジェクト・奨学金・職業研修チームの派遣等）に柔軟に活用できる、非常に使い勝手の良い補助金です。3年前に年次基金に拠出した寄付金の一定額が還流される、明朗なシステムになっており、各クラブの寄付・奉仕活動への積極的な取り組みを後押ししてくれています。そして、グローバル補助金は、ロータリーの6つの重点分野（「平和

と紛争予防／紛争解決」、「疾病予防と治療」、「水と衛生設備」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率向上」、「経済と地域社会の発展」）に該当し、持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動支援のプロジェクトに利用されています。補助金の申請手続きその他、ご不明の点がありましたら、MY ROTARYをご参照いただくか、地区の財団委員会にお問い合わせください。

なお、ロータリー財団管理委員会が、2014年10月の会合で、今後3年間の優先項目として以下の4項目を承認しましたことを念のため申し添えます。

1. 永久にポリオを撲滅する。
2. ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。
3. 財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
4. ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

地区会員の皆様におかれましては、「世界でよいことをしよう！」のスローガンのもと、引き続きロータリー財団へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

ときに今月21日（土）、22日（日）の両日、鈴鹿サーキットで本年度の地区大会を開催いたします。表彰台を獲得するのは、貴方のクラブです。セナやシューマッハが激走を繰り広げ、シャンパンファイトに酔いしれた聖地にて、皆様のお越しをお待ちしております。

ロータリー財団部門
委員長

渡邊 忠彦

今月は「財団月間」です。昨年度(2014-15年度)皆様から頂いたロータリー財団への寄付金は総額436,891ドルで、年次基金への寄付額は377,664ドル(会員一人当たり123.91ドル)でした。これは3年後の「地区財団活動資金(District Designated Fund)」に跳ね返って参ります。今期(2015-16年度)の地区財団活動資金(DDF)は、約189,200ドルで地区補助金に振り向けたDDFは94,600ドルでした。各クラブから申請のあった一般プロジェクトは24件で、内訳は、保健(5件)・教育(13件)・地域社会の発展(3件)・その他(4件)：(災害復興(2)・世界理解(1)・奨学金(1))でした。20,000ドルの奨学金資金を確保出来る見通しが立ったので、「地区補助金奨学生」を募集しました所、3名の応募が有り、補助金小委員会で面接試験を行なって、松阪RC推薦の米田裕香さんが合格しました。彼女は今英国のLeeds大学に留学して居ります。

選に漏れた2名に「グローバル補助金奨学金」への挑戦を勧めました所、一人が立候補して来ましたので、彼の希望留学地であるフランスのフォンテンブローRCの協力を得て「グローバル補助金奨学金」の申請を行いました。残念ながらロータリー財団の承認は得られませんでした。

今期から審査の客観性・透明性を確保するために、地区補助金の審査にも点数制を導入しました。『一次審査』の方法：クラブの申請内容を地区財団委員会メンバーが個々に内容を検討し、下記の項目で5点満点の点数を付けました。それを合計し項目

ごとの平均点と総合平均点を算出しました。それをもとに委員会メンバーが会議を持ち、すり合わせを行った後に『一次審査』の合否を判定しました。『一次審査』の採点項目：①ロータリー財団の使命への適合性(よく適応しているを5点)②プロジェクトの実現性と見通し(期待できるを5点)③進行中のプロジェクトかどうか？(新規に企画した事業に5点)④毎年実施している奨学金授与のように対象を変えただけの事業か(繰り返し事業には1点、そうでない場合は5点)⑤ロータリアンの参加度(全員が積極的に関わっているを5点、代表者だけが進めているは1点)⑥事業の創造性(非常に良いを5点)⑦総合的評価(非常に良いを5点)。この結果は財団委員に報告され審議されて、ガバナーの決済に委ねられますが、『一次審査』で「不採用の評点」が付けられますと、余程のことが無い限り覆りません。「地区補助金担当の委員」から修正の要請があった場合には、速やかに応じて頂きます様お願い致します。

今期は、資金枠が確保されていまして、「不採用の評点」が付けられた「プロジェクト」も有りませんでしたので、全て採用となりました。

来期(2016-17年度)に地区補助金に振り向けられる資金枠は、約101,000ドルの見込みです。また、この中から「地区補助金奨学金」資金枠(20,000ドル)を確保することが、先日(9月5日)の財団委員会で決議されております。また、今期まで行ってきた「先着順」も廃止されます。先に述べた「審査基準」を満たしていないプロジェクトは、『一次審査』で「不採用の評点」が付けられる確率が非常に高くなっております。「地区補助金プロジェクト」に対するクラブの熱意が大いに問われることとなります。「地区補助金」が有効に活用されて、地域の発展に繋がって行くことを念じております。

新しい仲間を迎えて



青少年奉仕部門
青少年交換小委員会
委員長

向井 龍三

今年の異常なまでの暑さも漸く峠を越す気配となった8月23日、アメリカ、フランス、スウェーデンから来日したばかりのインバウンド学生4人を迎え、岡田ガバナー、釧田ガバナーエレクト、伊藤アドバイザーご出席のもとオリエンテーションが開催されました。この日は1月に来日しているオーストラリア、ニュージーランドからの先輩学生2名も加わり、新しい仲間に対してアドバイスをめぐり親交を深めましたが、7月に5名の仲間が帰国し、少し寂しげな様子だった彼らも、新しい仲間との出会いを喜び、一気に仲の良い友達となってくれたようでした。今年の夏期来日学生は男子3名、女子1名ですが、これから始まる日本での留学体験を意義あるものにしてくれるよう期待したいと思います。三日後の26日からは広島原爆資料館、厳島

神社、そして姫路城などを訪れる夏期研修旅行に出かけ、見聞を広げることになっております。

この日は1年間という長きに渡って語学の勉強や文化の違いを経験し、派遣先との親善と理解の役割を十二分に果たして先ごろ帰国したばかりのアウトバウンド女子学生5人による帰国報告会も開催されました。それぞれがパワーポイントを駆使し、流暢な英語で生き生きと、そして交換学生として充実した1年間の体験してきたことを感動的で素晴らしい発表をしてくれました。スクリーンに映し出された派遣先での様子は、持ち時間15分ではとても言い尽くせないほどの喜びを伝えてくれましたが、同席した保護者、送り出した我々地区委員会のメンバー、そして会場に参加した各クラブの委員長さん始め大勢の皆さんは、人間的に大きく成長した頼もしい彼女たちの報告を胸が熱くなる思いで聞かれたことと思います。これからの長い人生のなかで、苦労をした経験も含め、どんなにかこの海外留学体験は貴重な糧となっていくことでしょう。皆さんの今後の活躍を楽しみにしたいと思います。

文庫通信 337号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

・ 貴重な古文庫 ・

◎「中国の大問題と日本の将来」	丹羽宇一郎	2015	10p	(D.2760地区大会記録誌)
◎「和魂和才・すこやかに生きる漢方の知恵」	寺澤 捷年	2015	11p	(D.2690地区大会記念誌)
◎「21世紀に求められるリーダーとは」	葛西 敬之	2015	9p	(D.2630地区大会記録誌)
◎「目標達成のセルフマネジメント イチロー、田中将大が実践する自分力の育て方」	奥村 孝治	2015	15p	(D.2550地区大会記念誌)
◎「環境革命の時代に神奈川を考える」	涌井 雅之	2015	13p	(D.2590地区大会の記録)
◎「シェルドンに学ぶロータリーの活性化」	小船井修一	2015	9p	(D.2630地区大会記録誌)
◎「ロータリーの歴史とその心」	三木 明	2015	10p	(D.2840地区研修・協議会報告書)
◎「里はまだ夜深いー江川英龍」	橋本 敬之	2015	4p	(米山梅吉記念館館報)
◎「『運命の一日』東郷平八郎の決断(前後編)」	岡村 健	2014	9p	(福岡南RC月報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

第2630地区 青少年交換学生夏期研修旅行

2015年8月26日(水)～28日(金)

於：広島平和記念資料館 他



8月26日、私は5名のロータリークラブ青年交換留学生、3人の前年度の交換留学生、そして、3人の成人ロータリアンとともに、広島平和記念資料館へ研修に行きました。

まず、原爆平和記念資料館では、原子爆弾投下直後のきのこ雲や生存者の様子を表す人形の展示を見学しました。この人形の展示は、身長150cm程度の2人の生存者が、崩壊する建物を背景に立ったものでした。その人形の両手は原子爆弾の炸裂による熱傷により肌が焼け、まるで溶けているようだったこと、更に、熱傷の程度は酷く、焼け落ちた皮膚の下には骨さえ見えていたことが、頭から離れません。核兵器に関する議論は続いている現在でも、人々に核兵器の使用を思いとどまらせるだけに十分な衝撃を与えるものだったように思います。

その後、原子爆弾の被害で亡くなった方々の遺品の展示を見学しました。その中でも、私の頭から離れないのは、三輪車と錆びついたヘルメットです。これは原子爆弾炸裂後まもなく亡くなった3歳の子どもの遺品でした。しかし、当時、彼の父親は、3歳の子どもをたったひとりで埋葬するには早すぎると心を痛め、彼のお気に入りだった三輪車と原子爆弾炸裂時に被っていたヘルメットを自宅の裏庭に埋めたのです。そして、40年後、彼の父親は、子どもを再度、お墓に埋葬しなおしたそうです。小さな我が子を亡くした父の悲しみを思い、原子爆弾の投下から70年もの歳月が過ぎた現在で、人間が作り出した悲劇は決して消えないのだと思い、言葉を失いました。

そして最後に、原爆ドームと原爆の子の像を見学しました。原爆ドームは現存する数少ない原子爆弾の被害を物語る建物です。また、原爆の子の像には多くの千羽鶴が奉納されていました。この千羽鶴は「1000羽の折り鶴を完成させると願いが叶う」という、日本の古い言い伝えに基づいているとのことでした。平和の子の像は世界中の子どもたちより送られた千羽鶴で囲まれており、この子どもたちこそが、核兵器のない平和な世界を担うリーダーなのだと感じました。

カイル・コリンズ(アメリカ・津北)

8月26日から28日までロータリー第2630地区の青少年交換学生とロータリアンの方々と共に研修旅行を受けた。この旅行では、本州の南部における広島、宮島、姫路城、大阪ユニバーサルスタジオなどの歴史的な名所古跡を見に行ってきた。このレポートによって、それぞれの行ってきた名所古跡に関して、自分が何を思い、感じたかを伝えたいと思う。

一日目に広島原爆ドームと資料館に行き、アメリカに苦しめられた戦争について色々学ぶことができ、原爆で被害を受けた日本の民間人に対し哀れみの感情を抱いた。資料館の出土品やドームの様子を見ると、「何というひどいことをしたものだ。どんな人がこんな惨いことを罪のない日本人に行ったのだろうか」と思い、戦争は意味がないものと分かるようになった。さらに、亡くなった人を惜しみなおかつ、世界的な平和の実現に賛成する用紙に自分の名前を記した。世界をより良い場所にすることが私の夢であるから、この用紙をロータリーのために提出したのである。

有名な厳島神社にも連れて行って頂いた。この神社に行ったのは2回目だったのに、初めて見た時よりも、さらに美しく見えた。宮島の景色も美しく、食事もととても美味しかったので、また行くことができて本当によかった。

2日目は初めて皆で姫路城に行った。外から見ると、姫路城は極めて大きく、眩しかった。中に入ると、何も家具などがなかったけれども、英語で姫路城の歴史について書いてあったので、姫路城のことを学ぶことが気楽にできた。あの時代に日本で起こった歴史は面白いと思うので、たくさん学ぶことができたのはありがたい。

最後にUSJで一日楽しく過ごすことができた。留学生とアトラクションにたくさん乗り、おみやげもいくつも買い、楽しみながら大切な留学の思い出を作ったのだ。海外からの子と話すのはだれでも簡単にできることではないので、留学生と仲良くできたことは大変誇りに思っている。

全体として、この夏期研修旅行では、日本文化と歴史を学ぶこと、楽しく遊ぶこと、色々な体験をすることができ、ロータリーに本当に感謝しています。連れて行ってくださったロータリアンの方々、どうもありがとうございました。この旅行で体験したことは、私の宝物であり、ロータリー青少年交換留学生として日本に来ていることを改めて光榮に思っています。私は旅したことがない日本の名所がまだ多いので、あと残っている4ヶ月の間に行けたら是非行ってみたいと思います。やはり、新しく行く場所で学ぶことによって、次にどこに行きたいかも分かってくるし、自分が世界のために何をやりたいかも分かるようになってくる。 [全文原文のまま]

ジェイコブ・カーリン(オーストラリア・大垣)

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2015年9月分

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
岐阜 A	岐 阜	89.51	4	88	88	89	0	1
	岐 阜 西	89.40	3	54	54	55	0	1
	岐阜長良川	94.37	4	53	53	54	0	1
	岐 阜 北	91.41	4	32	32	32	3	0
	岐 阜 中	77.78	3	31	31	32	1	1
	グループ計(5)	88.49		258	258	262	4	4
岐阜 B	岐 阜 南	81.54	4	74	74	78	2	4
	岐 阜 東	85.19	4	51	51	52	1	1
	岐阜東南	82.69	4	32	32	34	0	2
	岐阜加納	87.50	4	59	59	58	0	-1
	岐阜エトス	67.31	4	13	13	14	1	1
	岐 阜 城	90.32	4	17	17	17	1	0
	岐阜中山道	86.67	5	13	13	13	3	0
	グループ計(7)	83.03		259	259	266	8	7
岐阜 西濃	大 垣	85.07	4	84	84	87	0	3
	大 垣 西	88.74	4	79	79	81	0	2
	本 巢	78.63	4	28	28	30	0	2
	羽 島	95.81	4	31	31	31	3	0
	不 破	75.00	4	31	31	31	0	0
	大 垣 中	86.46	4	38	38	39	0	1
	大垣センチュリー	80.08	3	49	49	51	1	2
	岐阜淡墨	97.43	3	13	13	13	1	0
	岐阜サンバー	87.03	3	20	20	20	4	0
	不破の関	90.39	4	13	13	13	0	0
	グループ計(10)	86.46		386	386	396	9	10
岐阜 東濃	多 治 見	81.40	4	43	43	46	2	3
	中 津 川	89.92	4	65	65	70	3	5
	瑞 浪	96.49	4	57	57	57	0	0
	恵 那	81.75	4	38	38	37	0	-1
	土 岐	89.75	3	40	40	41	1	1
	多治見西	85.17	4	38	38	39	3	1
	中津川センター	80.45	2	43	43	44	0	1
	多治見バーサド	83.56	4	35	35	35	1	0
	グループ計(8)	86.06		359	359	369	10	10
東海 北陸道	美 濃	80.92	4	32	32	33	0	1
	各 務 原	65.00	4	23	23	23	0	0
	関	100.00	4	46	46	46	2	0
	郡上八幡	96.23	4	42	42	41	0	-1
	関 中 央	84.51	3	32	32	32	0	0
	郡上長良川	80.77	4	25	26	26	2	0
	各務原中央	68.52	4	27	27	29	0	2
	各務原かみの	91.07	4	14	14	14	4	0
	グループ計(8)	83.38		241	242	244	8	2
濃 飛	高 山	81.25	4	39	39	41	0	2
	下 呂	85.96	3	14	14	19	0	5
	高 山 西	80.56	4	44	44	45	0	1
	美濃加茂	84.67	4	27	27	31	4	4
	可 児	77.00	4	28	28	28	0	0
	可 茂	88.24	4	16	16	17	3	1
	高山中央	88.05	3	55	55	54	2	-1
	グループ計(7)	83.68		224	223	235	9	12
岐阜県合計(45)		85.10		1,726	1,727	1,772	48	45

グループ	ク ラ ブ	出席率	例会数	期末	会 員 数			
					期首	月末	うち女性	増減
桑 名 員	桑 名	96.13	3	44	44	43	0	-1
	桑 名 西	71.67	3	34	35	38	0	3
	桑 名 中央	82.56	4	32	32	33	1	1
	桑 名 北	94.53	4	32	32	32	9	0
	グループ計(4)	86.22		142	143	146	10	3
四 日 市	四 日 市	97.53	4	99	99	102	0	3
	四日市北	94.17	4	18	18	19	3	1
	四日市西	93.30	4	54	54	56	4	2
	四日市南	84.72	4	36	36	36	3	0
	四日市東	100.00	3	40	40	40	1	0
	グループ計(5)	93.94		247	247	253	11	6
鈴 鹿 ・ 亀 山	鈴 鹿	77.58	2	57	57	59	8	2
	鈴 鹿 西	78.14	3	43	43	43	7	0
	鈴 鹿 ベイ	86.54	4	11	11	13	0	2
	亀 山	90.48	3	15	15	16	0	1
	鈴鹿シティ	84.21	4	59	62	61	3	-1
	グループ計(5)	83.39		185	188	192	18	4
中 勢 ・ 伊 賀	津	91.39	4	60	61	64	2	3
	上 野	95.58	4	36	36	36	0	0
	名 張	93.76	3	38	38	38	0	0
	津 南	95.09	3	46	46	49	1	3
	津 北	87.34	4	39	39	42	3	3
	上 野 東	100.00	4	37	37	38	0	1
	久 居	82.80	3	33	33	33	0	0
	名張中央	80.17	4	28	28	27	1	-1
	グループ計(8)	90.77		317	318	327	7	9
松 阪 ・ 東 紀 州	松 阪	88.40	3	67	67	68	0	1
	松 阪 東	85.06	3	57	57	58	11	1
	熊 野	65.15	4	32	32	33	3	1
	尾 鷲	78.61	4	11	11	11	2	0
	松阪山桜	90.71	4	34	34	35	3	1
	グループ計(5)	81.59		201	201	205	19	4
伊 勢 ・ 鳥 羽 ・ 志 摩	伊 勢	86.13	4	61	61	60	0	-1
	鳥 羽	80.94	4	35	36	34	4	-2
	伊 勢 南	91.65	3	38	38	38	0	0
	志 摩	78.91	4	45	45	45	11	0
	伊勢中央	94.71	4	46	46	46	0	0
	伊勢度会	97.62	3	14	14	14	2	0
	グループ計(6)	88.33		239	240	237	17	-3
三重県合計(33)		87.74		1,331	1,337	1,360	82	23
地 区 合 計(78)		86.22		3,057	3,064	3,132	130	68

■ 2014年9月(前年度)出席報告

	出席率	期 首	月 末	うち女性	増 減
岐阜県合計(47)	86.07	1,712	1,770	44	58
三重県合計(33)	88.36	1,338	1,361	74	23
地 区 合 計(80)	87.02	3,050	3,131	118	81

〈注〉グループ、県、地区の出席率は全てグラフ数で計算した。

入会会員

岐阜RC	岐阜西RC	岐阜中RC	岐阜中RC	岐阜南RC	岐阜南RC	岐阜南RC	岐阜エトスRC
							
稲垣隆司 2015.9.4入会 公立大学	永野淳也 2015.9.7入会 税理士	安藤篤史 2015.9.8入会 服地	中村賢司 2015.9.8入会 信用金庫	伊在井みどり 2015.9.24入会 内分泌科医	井川元宏 2015.9.24入会 医薬品製造販売	平野聡子 2015.9.24入会 産婦人科医	水野 潔 2015.9.7入会 プラスチック加工

大垣西RC	各務原中央RC	美濃加茂RC	桑名西RC	桑名中央RC	四日市RC	四日市RC	四日市西RC
							
山口継道 2015.9.1入会 建築設計	今尾英明 2015.9.10入会 建築躯体	安江敬司 2015.9.4入会 ホテル業	伊藤一雄 2015.9.9入会 設備メンテナンス	石井清夫 2015.9.4入会 麵製造	長合教実 2015.9.17入会 貯蓄銀行	後藤善博 2015.9.17入会 警備保障	若林弘樹 2015.9.4入会 圧縮ガス配布

四日市西RC	津RC	津RC	津RC	松阪東RC	松阪山桜RC
					
片山穰二 2015.9.4入会 結婚相談業	阿部和久 2015.9.9入会 新聞発行	長江 正 2015.9.9入会 テレビ放送	大津光浩 2015.9.9入会 ガス供給	大平順子 2015.9.7入会 電気事業	坂東 正 2015.9.1入会 建築設備工事

退会会員

所属クラブ	氏 名	性別	退会年月日
岐 阜 中	柴 田 和 夫	男	2015.9.30
高 山 中 央	永 家 将 嗣	男	2015.9.30
鈴 鹿 シ テ イ	山 下 穰 太	男	2015.9.30

所属クラブ	氏 名	性別	退会年月日
名 張 中 央	稲 垣 昭 則	男	2015.8.27
松 阪	石 川 浩 基	男	2015.9.30
鳥 羽	吉 川 政 雄	男	2015.9.30

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

大垣RC	多治見リバーサイドRC	桑名RC	水谷宗嗣
			
浅野重雄 1966.12.7入会 2015.9.27逝去 1989-90年度 会長 1998年 ボール・ハリス・フェロー 1995年 ボール・ハリス・フェロー・マルチプル 1990年 第3回米山功労者マルチプル	森本 烈 1992.5.30入会 2015.9.2逝去 2005-06年度 会長 米山功労者マルチプル	水谷宗嗣 1991.1.7入会 2015.9.11逝去 2014-15年度 会長 ボール・ハリス・マルチプル2回 第2回米山功労者	



Rotary



2015・2016年度 国際ロータリー第2630地区

地区大会



SUZUKA CIRCUIT

ホストクラブ：鈴鹿シティロータリークラブ

第2630地区のページは
スマートフォンでも
ご覧いただけます。

第1日目：11月21日（土）

第2日目：11月22日（日）

会場 鈴鹿サーキット（国際レーシングコースエリア）

○大会1日目は、各自にて昼食をお済ませ下さい。



11：00 登録・受付開始

11：30 大会特別委員会

13：00 開会・点鐘

本会議



15：50 基調講演

17：00 閉会・点鐘

18：00 RI会長代理歓迎晩餐会



8：00 登録・受付開始

9：00 開会・点鐘

式典・本会議

10：40 記念講演（パネルディスカッション）

12：20 次期への誓い

12：50 閉会・点鐘

13：00 RI会長代理を囲む大昼食会
・会員懇親会

登録料

会員：10,000円／夫人・ロータリー関連団体：5,000円／RI会長代理歓迎晩餐会：15,000円



ガバナー

岡田 信春



地区大会実行委員長

伊藤 素近

皆様方には、いつも第2630地区のロータリー活動にご理解とご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。
皆様、地区大会にお越し頂きますよう心よりお待ちしております。

いよいよ、「元気に！明るく！楽しく！」をモットーに開催する2015-16年度 国際ロータリー2630地区の地区大会も近づいて参りました。かの本田宗一郎翁は「鈴鹿の道は世界に通ず」と言う言葉を残され、「モータースポーツの聖地・鈴鹿サーキット」は今、グローバルな視点が求められるロータリアンにとって、絶好の開催地になると自負しております。

地区大会は、RI会長代理として第2570地区東松山ロータリークラブの真下和男パストガバナーにお越し頂きます。11月21日の基調講演では第2代よねやま親善大使 于 咏（ウ エイ）講師にご講演をお願いし、11月22日の記念講演では、多治見市長 古川雅典様、高山市長 國島芳明様、鈴鹿市長 末松則子様、ロータリー代表 加賀修氏によるパネルディスカッションを開催致します。そして、モータースポーツに因んだ各種イベントもご用意させて頂きました。サーキットならではの臨場感の中で行う大会は、きっと皆様の心に残る地区大会になると考えております。

また、ご家族様にも満足頂けるよう、サーキットの遊園地をはじめ、鈴鹿の伝統文化にもふれられる数々のエクスカージョンもご用意させて頂きました。土日の開催となりますので、是非、ご家族もお誘い合わせの上、多数の皆様のお越しをお待ちしております。

コ・ホストクラブ：鈴鹿ロータリークラブ・鈴鹿西ロータリークラブ・鈴鹿ベイロータリークラブ・亀山ロータリークラブ

2015-16年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

各地区委員会への連絡・問い合わせ

地区事務所

〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16
TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org執務時間 9:30～17:30
（土・日・祝日 休務）ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー
ガバナー補佐・地区幹事への連絡・問い合わせ

ガバナー事務所

〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20 ギャラリーオカトモ102
TEL 059-381-2630 FAX 059-381-2631 E-mail 1516@rid2630.org執務時間 9:30～16:00
（土・日・祝日 休務）

地区大会に関する連絡・問い合わせ

地区大会事務局

〒513-0809 三重県鈴鹿市西条4-20 ギャラリーオカトモ102
TEL 059-381-2630 FAX 059-381-2631 E-mail 1516taikai@rid2630.org執務時間 10:00～15:00
（土・日・祝日 休務）